

第15回軽金属功績賞

軽金属功績賞は、軽金属に関する学術研究および技術開発に顕著な功績を上げ、当学会の発展に貢献した者に贈る。



日野 実 君

(広島工業大学大学院
工学系研究科 教授)

日野 実 君は、軽金属の高機能化を目的としためっきや陽極酸化処理など表面処理技術およびレーザー応用技術に関する研究を行ってきた。特に各種分析技術を用い、皮膜の構造と物性ならびに界面状態を解明し、これらの成果を基に高機能な実用材料設計、製造指針を明らかにしている。例えばマグネシウム合金への環境に優しいリン酸塩陽極酸化処理を開発し、輸送機器、レジャー製品、電子機器フレーム等に適用され、マグネシウム製品の信頼性向上に寄与している。また、カーボン強化マグネシウム合金は、現在、国内外の電子機器筐体等に適用され、今後、輸送機器への展開も期待されている。その他、インサート材を用いたレーザー異材接合技術は、国内外の電子機器を中心に適用され、本技術がアルミニウム合金-樹脂異材接合に対して極めて有用であることを明らかにした。これまで軽金属に関連する多数の経済産業省委託産学官共同研究事業を推進し、PLやSLを務め、製品の高機能化・低コスト化を実現し、参画企業の需要拡大など、軽金属産業の活性化にも貢献している。本会においては編集委員会委員を務めるとともに中国四国支部での役員および研究会の企画等にも積極的に参画しており、今後とも研究活動はもとより学会運営に対しても貢献が期待される。

以上の理由により、同君は軽金属に関する学術および技術面に顕著な功績を上げており、ここに軽金属功績賞を授与する。